

環境経済部

環境政策課

生活環境課

農林課

商工振興課

観光まちづくり推進課

1 環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や市民及び市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。

(1) あきる野市環境審議会

第二次あきる野市環境基本計画の改訂について審議した。

開 催 日	内 容
令和4年 4月20日	第二次あきる野市環境基本計画改訂版（案）について（諮問）
5月16日	第二次あきる野市環境基本計画改訂版（案）について（答申）

(2) あきる野市都市環境審議会

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議する。令和4年度は、諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(3) あきる野市環境委員会

ア あきる野市環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や市、市民及び事業者の協働による取組の企画・推進を行った。

開 催 日	内 容
令和4年 6月29日	1 令和4年度活動スケジュールについて 2 「第二次あきる野市環境基本計画等 施策進捗状況調査」の点検作業について 3 点検評価作業分野希望調査について
8月29日	1 「第二次あきる野市環境基本計画等 施策進捗状況調査」の点検作業について 2 「とりまとめシート」の提出依頼について 3 新省エネ型生活10か条について
10月13日	1 「令和3年度 あきる野市環境白書」について 2 「あきる野市環境委員会からの意見」について
12月12日	1 委員長、副委員長の選出について 2 代表委員の選出について 3 環境白書について
令和5年 1月24日	「知る」活動（省エネセミナー）
2月27日	1 「令和4年度 あきる野市環境白書」について 2 新省エネ型生活10か条について 3 あきる野環境フェスティバルについて

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
環境白書作成業務	環境白書の作成支援	935,000

(4) 港区環境交流事業

あきる野市と港区の子どもたちが、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、両自治体の交互開催で交流会を行っている。令和4年度は、新型コロナ対策のため中止した。

(5) グリーンカーテン普及事業

省エネ対策や夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア ゴーヤ苗の市民配布

新型コロナ対策のため、あきる野環境フェスティバルを中止したことから、本庁舎、五日市出張所及び小宮ふるさと自然体験学校において、無料配布を行った。

配 布 日	場 所	配布数 (本)
令和4年 5月23日	五日市出張所	126

5月24日	小宮ふるさと自然体験学校	36
5月25日	本庁舎	360
6月6日	五日市出張所	83

イ グリーンカーテン講習会

新型コロナ対策のため中止した。

ウ 公共施設でのグリーンカーテンの取組

子どもたちをはじめ市民への普及啓発のため、五日市出張所、保育園、小学校等に計95本のゴーヤの苗を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

エ グリーンカーテン写真募集

市民及び市内事業者への普及啓発の一環として、グリーンカーテンの写真募集を実施した。市民等から提供された写真は、市ホームページ、五日市出張所及び中央図書館で展示した。

グリーンカーテン写真募集 応募件数 18件

(6) エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア 「わたしのエコドライブ宣言」の実施

「わたしのエコドライブ宣言」の参加者に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配布した。

参加者数 27人

イ 普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車にエコドライブ啓発ステッカーの貼付を行うとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録による庁用自動車の燃費把握を行った。

(7) 小さな子どものおさんぽ会

小さな子どもたちに、本市の恵まれた自然とじっくり向き合う機会を提供し、本市の自然環境の担い手となる人材を育成するため、環境委員会の下部組織である「森のようちえん部会」の主催により、未就学児とその保護者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」やこれまでの参加者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）を実施した。

ア 「小さな子どものおさんぽ会」

開催日	場所	参加者数
令和4年 4月17日	鯉川	7組20人
5月22日	大澄山	9組24人
6月19日	高瀬の田んぼ	10組30人
7月24日	草花公園水路	7組16人
9月19日	瀬戸岡古墳	悪天候のため中止
10月30日	秋川上流	8組25人
11月23日	弁天山	11組32人
令和5年 3月21日	横沢入	10組26人

イ 「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）

開催日	場所	参加者数
令和4年 8月28日	小峰公園	3組8人
12月11日	小宮ふるさと自然体験学校	8組28人

(8) あきる野環境フェスティバル

新型コロナ対策のため中止した。

2 ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理、緑化指導等を行った。

(1) あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関し、審議をする。令和4年度は諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(2) 保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

ア 保存緑地の管理

市の管理する保存緑地について、業務委託等により、剪定、整理伐採等を行い、適正な状態を維持した。

件名	内容	委託料(円)
保存緑地管理業務	草刈り、剪定及び伐採 6件	862,210

イ 保存緑地に対する補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金と、樹木の枯死等を防止するための経費に対する補助金を交付した。

件名	内容	補助金額(円)
保存緑地補助金(樹林地)	2か所 5,670㎡	114,868
保存緑地補助金(屋敷林)	1件	10,000
樹木管理費補助金	1件	100,000

(3) 緑化の指導等

ア ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

500㎡以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 緑化計画書の届出 6件

(イ) 宅地造成等に関する届出 10件

イ 工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書を受理などを行う。令和4年度は、新設、変更又は廃止の届出がなかったため、受理件数なし。

(4) 横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

ア 横沢入里山保全地域運営協議会への出席

開催なし

イ 拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

ウ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
里山保全地域管理業務	1 利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回	3,065,000
	2 草刈・不法投棄物・一般ごみ回収などの保守管理	
	3 拠点施設の安全管理	

拠点施設清掃等業務	1 施設内のトイレの清掃 2 施設内の清掃	1 3 7, 4 4 5
浄化槽保守点検業務	1 浄化槽の維持管理 2 浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	8 8, 0 0 0
地区内設備修理等業務	1 地区内の倒木処理 2 地区内の草刈等 3 地区内の木橋の設置等	3 4 2, 1 0 0

3 生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用を図るに当たり、生物多様性あきる野戦略に基づき、生態系の保全のため、あきる野市生きもの会議を運営するとともに、外来生物対策等を実施した。

(1) あきる野市生きもの会議

生物多様性あきる野戦略の推進のため、市内に生息し、又は生育する希少生物の保全方策等の検討を行う。

開催日	内容
令和4年12月5日	1 委員長及び副委員長の選出について 2 あきる野市版レッドリスト（植物）原案の作成について
令和5年2月6日	1 あきる野市版レッドリスト（植物）案の作成について 2 次に作成するレッドリストについて

(2) あきる野市版レッドリスト検討部会

あきる野市版レッドリスト検討部会である植物部会は、あきる野市版レッドリスト（植物）の原案を既に作成していたため、本会議は開催しなかった。

(3) あきる野市自然環境調査

生きもの会議の下部組織として自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。

ア あきる野市自然環境調査部会

開催日	内容
令和4年4月25日	1 令和3年度活動報告及び決算について 2 令和4年度活動計画及び予算について
令和4年12月19日	1 来年度の役員体制について 2 自然環境調査部会の予算関係について

イ 業務委託

自然環境調査業務委託料 574,000円

(4) 外来生物対策

生態系に被害を与えている外来種（アライグマ、ハクビシン、オオキンケイギク、オオブタクサ、クビアカツヤカミキリ）について、対策を実施した。

ア アライグマ及びハクビシン

あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生息場所を特定し、市民及び地権者等の協力の下、市内全域で捕獲を行った。

実施日	内容
令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	1 実施箇所等 わな設置箇所 23地区 52か所 その他捕獲 8地区 11か所 2 捕獲実績 (1) アライグマ 78頭 (2) ハクビシン 6頭

イ オオキンケイギク

市民参加の除草イベント「外来植物除去作戦」は、新型コロナ対策のため中止し、職員のみ

で除草を行った。

実 施 日	従 事 者 数 (人)
令和4年 6月20日	2

ウ クビアカツヤカミキリ

市職員による公共施設の調査結果及び市民による目撃情報等を基に寄生場所を特定し、成虫の捕殺及び幼虫の駆除を行った。

実 施 日	内 容
令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	木の本数 1 期間内に確認した寄生木本数 255本 2 市の所管施設等における伐採本数 3本 3 市民による伐採 4本

4 地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び第四次あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組を推進した。

(1) 温室効果ガス排出量等の集計

ア 第四次あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
地球温暖化対策進行管理 集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び計画の目標達成の状況などの点検 1 本年度実績の調査 2 前年度実績値の全体集計 3 前年度課・施設別点検報告	792,000

(2) 省エネの推進

省エネの代表的な取組を示す「省エネ型生活10か条」やエネルギー消費量を入力することで、各家庭の二酸化炭素排出量を知ることができる「環境家計簿」の取組を市ホームページにより周知した。また、地球温暖化対策の取組として、事業者及び家庭向けの省エネセミナーを実施した。

開 催 日	内 容	参 加 者 数
令和4年11月 4日	事業者向け省エネセミナー	4社 5人
12月10日	家庭向け省エネセミナー	12人

(3) 第五次あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定

ア 第四次あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）が中期目標年度を迎えたことや、国の「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、温室効果ガス排出量の削減目標等が更新されたことに伴い、第四次計画を改定し、新たに第五次計画を策定した。

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）改定支援業務	あきる野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定支援	1,041,700

1 郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想及び生物多様性地域連携保全活動計画に基づく地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。令和4年度は、14の町内会・自治会等により22か所で事業が実施された。

(1) 昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会	内 容	期間 (年目)	距離 (k m)	階段 (m)	標識 (か所)	金 額 (円)
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	12	3.0	0	0	92,400
	大野道補修事業	8	1.4	0	0	50,000
深沢自治会	大カシ・堀田尾根道整備事業	13	3.8	30	0	126,280
	大杉への探索路整備事業	10	0.6	50	0	50,000
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	13	1.2	150	3	98,160
高尾自治会	高尾神社周辺尾根道整備事業	11	1.2	0	0	50,000
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	12	4.0	0	0	77,600
	菅生北尾根周遊道整備事業	13	3.8	0	0	73,720
合 計		—	19.0	230	3	618,160

(2) 景観整備事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	金 額(円)
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	13	150,000
	南沢地区景観整備事業	13	150,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	13	150,000
	軍道地区まがめひろば景観整備事業	10	50,000
乙津自治会	乙津地内景観整備事業	12	150,000
落合自治会	加茂原周辺景観整備事業	12	150,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	12	150,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	12	150,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	12	150,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	12	150,000
	坂下周辺景観整備事業	1	300,000
網代自治会	弁天山公園周辺景観整備事業	9	100,000
北郷いさぐり会	北郷いさぐり地区景観整備事業	7	150,000
三内自治会	天竺山山頂周辺景観整備事業	4	100,000
合 計		—	2,050,000

2 森林レンジャーあきる野

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会等が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木などの地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源の持つ魅力を市内外に向けて発信している。

(1) 活動状況

実施日	内 容	参加者数
令和4年 4月19日	五日市小学校4年生校外学習	78
5月11日	菅生大沢地区意見交換会	7
6月 7日	屋城小学校3年生校外学習	31
6月17日	西秋留小学校3年生校外学習	76
6月26日	森っこサンちゃんクラブ	7
9月16日	一の谷小学校3年生校外学習	32
9月27日	多西小学校3年生校外学習	70
10月 4日	草花小学校3年生校外学習	104
10月13日	前田小学校3年生校外学習	53
10月21日	増戸小学校3年生校外学習	103
10月25日	東秋留小学校3年生校外学習	71
11月 1日	南秋留小学校3年生校外学習	73
11月5日、6日	GTFグリーンチャレンジデー2022（新宿御苑）	—
11月13日	菅生大沢森林再生整備活動	18
令和5年 1月28日	森林レンジャーあきる野ツアー	8
1月29日	森っこサンちゃんクラブ	9
2月26日	森っこサンちゃんクラブ	4

(2) 情報発信の取組

- ア 森林レンジャーあきる野新聞の発行 12回
- イ 森林レンジャーがゆく（広報掲載） 8回

3 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会等との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」を設置している。

(1) 隊員の構成

- ア 人数 107人（令5年3月31日現在）
- イ 内訳
 - （ア）市職員 45人
 - （イ）市民 33人
 - （ウ）市民以外 29人

(2) 活動状況

新型コロナ対策のため活動を中止した。

4 森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野とともに、あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第12期森の子コレンジャー（公募で募集した小学4、5年生の10人）が1年間活動した。

また、森の子コレンジャーOBによる同窓会として、自分たちが活動した森などの観察を行った。

(1) 第12期活動状況

実施日	内 容
令和4年 5月22日	始動式、名札作り及び散策（五日市出張所、小和田地区周辺）
6月 5日	季節の自然調査（小宮ふるさと自然体験学校周辺）

7月 3日	初夏の山歩き（網代、高尾地区周辺）
9月 4日	初秋の山歩き（深沢、五日市地区周辺）
9月25日	鳥の渡りの観察（五日市地区周辺）
11月13日	秋の山歩き（乙津、戸倉地区周辺）
12月 4日	ビオトープ整備（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
令和5年 2月 5日	秋川の冬の生き物調査（切欠周辺）
3月26日	修了式、ビオトープ観察（小宮ふるさと自然体験学校周辺）

(2) 同窓会活動

実施日	内 容
令和4年11月23日	ビオトープ整備（雨天中止）
令和5年 3月21日	第3、4、5、6、7、8、9、10、11期同窓会 ビオトープ観察（小宮ふるさと自然体験学校周辺）

5 小宮ふるさと自然体験学校の運営

子どもたちを中心に自然とのふれあいや環境学習の場を提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るため、小宮ふるさと自然体験学校を拠点とした各種自然体験事業等の実施及び施設の貸出しを行った。

(1) 自然体験事業等

内 容	利用者数
あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等）	78
市内小中学校の自然体験事業	613
その他、学校等の体験事業	25
団体の自然体験事業（市内の団体）	721
団体の自然体験事業（市外の団体）	520
森の子コレンジャー	27
見学（校内見学）等	143
合 計	2,127

(2) その他イベント等

内 容	利用者数
ふれあい交流事業	693
施設の貸出し	1,493
その他（自然体験事業下見等）	66
合 計	2,252

6 自然環境学習

自然環境の保全や郷土愛を育む人材を育てるため、子どもたちが豊かな自然とふれあい、自然環境の大切さや生物多様性を学ぶ自然環境学習を業務委託により実施した。

事業名	内 容	回数	参加者数
菅生子どもの森活動	火起こし体験など	4	20
子どもが主役のオオムラサキの森活動	オオムラサキの幼虫調査など	5	41
合 計		9	61

7 ホタルの里づくり

(1) ホタルの里づくり推進事業

ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組を支援した。

町内会・自治会	団体名	金額(円)
深沢自治会	深沢ほたるの会	54,000
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	54,000
落合自治会	落合自治会ほたるの会	54,000
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	54,000
合計		216,000

(2) ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動を「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア 委託事業者 菅生ホタルの里づくりの会

イ 履行期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

ウ 委託料 54,000円

(3) ホタルの里づくり推進事業に係る情報連絡会

ホタルの保護や環境整備に取り組んでいる団体を対象に、情報交換会を開催した。

開催日	内容
令和4年7月20日	ホタルの保全活動を実施している団体代表者による講演を行った後、各団体の取組状況や課題等について情報交換を行った。

8 森っこサンちゃん

市のイメージキャラクターである「森っこサンちゃん」は、市が発行する各種刊行物や各種イベント等において、里山環境の保全や観光のPR活動などに広く活用されているほか、そのデザインについては、「『森っこサンちゃん』の使用に関する要領」に基づき、事業者により各種商品等に活用されている。また、着ぐるみについては、「『森っこサンちゃん』着ぐるみ使用基準」に基づき、市のイベント等で活用している。

このほか、キャラクター活動に関心のある市職員がボランティアで組織する「森っこサンちゃんサポーターズクラブ」を設置し、「森っこサンちゃん」の幅広い活用の検討や着ぐるみ対応の支援などを行っている。



(1) 各種商品(令和5年3月31日現在)

	商品名	取扱店舗等
食品	ポテあられ、缶ドロップ、ゆずほうじ茶	新四季創造(株)
	焼菓子(まんじゅう)	恵比寿屋、(有)中島屋
その他	ぬいぐるみボールチェーン、ミニハンカチ、マルチペン、ノック式消しゴム、手ぬぐい、靴下、絆創膏、トラランプ、アクロボール、温泉の素、缶バッジ	新四季創造(株)
	ストラップ	東京都森林組合
	スマホ立て	東京都森林組合
	Tシャツ	シンコースポーツ(株)
	ポロシャツ、防滴ポーチ、メッシュキャップ、Yシャツ	シンコースポーツ(株)
反射材キーホルダー	(株)メルシータウン	

(2) 着ぐるみの活用

事業	市主催又は共催	環境教育関連	観光・商工関連	その他	合計
回数	15	1	1	0	17

1 環境確保条例に関する委任事務

環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）に基づく事務の一部を都から受任しているため、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行った。

(1) 工場設置及び変更認可件数の推移

種 類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
設置認可	2	4	1	1	1
変更認可	3	1	5	3	5

(2) 指定作業場設置及び変更届出件数の推移

種 類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
設置届	2	2	0	6	1
変更届	1	0	2	1	4

(3) 地下水揚水量報告書提出件数

工場	4	指定作業場	7	その他	6	合計	17
----	---	-------	---	-----	---	----	----

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく届出

騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導等を行った。

(1) 騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数

種 別	秋川地区	五日市地区	合 計
特 定 工 場	69	53	122
特 定 施 設	501	190	691

(2) 振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数

種 別	秋川地区	五日市地区	合 計
特 定 工 場	64	27	91
特 定 施 設	603	151	754

(3) 騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数 15件

(4) 振動規制法に基づく特定建設作業の届出数 7件

3 公害に関する苦情

(1) 苦情受付現象別件数

区分	悪臭	汚水	騒音	振動	粉じん	ばい煙	焼却行為	その他	合計
件数	4	3	24	1	6	1	21	86	146

(2) 発生源別・用途地域別苦情受付件数

用途地域 公害種目		受 付									
		低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	合 計
発 生 源 別	工 場	3	0	1	0	0	0	0	0	4	8
	指定作業場	0	1	2	0	0	0	0	0	1	4
	建設作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 般	73	7	7	3	0	2	0	0	42	134
	合 計	76	8	10	3	0	2	0	0	47	146

4 あき地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

(1) 苦情受付発生源別件数

区分	雑草等繁茂	廃棄物放置	害虫発生	その他	合計	指導件数	勧告件数
件数	32	0	0	0	32	31	0

(2) 草刈機貸出し件数 60件

5 環境調査

(1) 秋川・平井川河川水質調査〈年間4回(※1)実施の平均値〉

項目・単位 地点	PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	SS 浮遊物質	DO 溶存酸素量	大腸菌数
	-	mg/l	mg/l	mg/l	CFU/100ml
西青木平橋(秋川)	7.2	0.6	<1.0	10.4	3
落合橋(秋川)	7.2	0.6	1.8	10.1	-
沢戸橋(秋川)	7.4	0.6	2	10.4	-
秋川橋(秋川)	7.4	0.7	<1.0	10.5	10
天王沢(秋川合流点)	7.3	0.7	<1.0	9.9	-
三内川(秋川合流点)	7.3	0.6	<1.0	10.0	-
清水荘前(秋川)	7.3	0.6	<1.0	10.8	-
引田堰(秋川)	7.3	0.6	<1.0	10.1	6
秋留橋(秋川)	7.3	0.6	1.3	10.7	-
東秋川橋(秋川)	7.2	0.7	1.5	11.0	16
舞知川(秋川合流点)	7.1	0.8	3.8	10.5	-
高橋上流(養沢川)	7.4	<0.5	<1.0	10.3	1
五日市解体下(養沢川)	7.3	0.6	<1.0	10.1	3
小宮ふるさと自然体験学 校前(養沢川)	7.4	0.6	1.3	10.6	-
観音橋(平井川)	7.0	0.8	1.5	10.8	13
小宮久保橋(平井川)	7.1	0.7	1.3	11.0	-
新開橋(平井川)	7.0	0.7	1.3	10.6	-
多西橋(平井川)	7.2	0.7	1.3	11.0	11
鯉川橋(鯉川)	7.2	0.7	<1.0	10.6	-
氷沢川ヒル橋(氷沢川) (※3)	7.1	7.6	2.3	10.5	-
参考値(※2)	6.5~8.5	1 mg/l 以下	25 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	20CFU/100 ml 以下

※1 採取日：令和4年5月10日、8月24日、11月1日、令和5年2月14日

※2 参考値は、河川AA類型(秋川・平井川・養沢川)の環境基準値である。

※3 生物化学的酸素要求量以外の項目は環境基準を満たしていた。本市の下水道整備状況は、令和4年度末で96.87%で雨水はそのまま河川に流す分流式である。生物化学的酸素要求量が高い値を示すのは雑排水などの人為的な汚染による影響が大きいと考えられる。今後とも経過観察を行い注視していく。

(2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査(採取日 令和5年2月21・22日)

項目・単位 調査場所	PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	全窒素	アンモニア 性窒素	大腸菌数
	-	mg/l	mg/l	mg/l	CFU/100ml
山田八幡神社裏	6.6	0.5	4.08	0.02	0

真城寺	6.8	0.6	5.04	0.02	0
白滝神社	6.9	0.6	4.44	0.02	2
牛沼287	6.8	<0.5	4.30	0.02	2
雨間698	6.9	<0.5	3.30	0.02	1
秋川グリーンスポーツ公園前	6.8	<0.5	2.99	0.02	0
小川820	6.5	<0.5	5.59	0.02	4
平沢617(※2)	-	-	-	-	-
広済寺付近	6.6	<0.5	6.22	0.02	2
二宮お滝	6.2	<0.5	6.44	0.02	1
二宮神社お池	6.6	<0.5	5.37	0.02	4
八雲神社	6.1	<0.5	6.36	0.02	1
草花公園	6.4	0.7	2.46	0.02	2
草花1127	6.2	<0.5	2.58	0.02	0
草花小学校西	6.6	<0.5	8.74	0.02	4
菅生夫婦橋下	6.5	<0.5	2.21	0.02	0
折立坂(※2)	-	-	-	-	-
南秋留小横(※2)	-	-	-	-	-
旧ミユキ組宿舎(西)	6.9	0.8	3.79	0.03	4
舞知川	7.2	0.8	6.49	0.05	2
広済寺下	6.6	0.6	5.53	0.06	2
玉見ヶ崎公園隣	7.0	0.8	5.58	0.05	0
養沢川	6.9	0.6	1.18	0.06	0
盆堀川	6.7	0.6	1.36	0.02	4
入野沢	7.0	0.7	1.73	0.02	1
北裏水路(※2)	-	-	-	-	-
樽沢	7.0	0.8	3.56	0.02	0
宮の入沢	6.9	0.8	1.69	0.03	0
横沢	6.8	0.6	2.00	0.02	0
引谷川	7.0	0.7	1.76	0.03	2
溝ッ堀	6.9	0.9	3.25	0.02	2
北川原(※2)	-	-	-	-	-
ふれあい橋(※2)	-	-	-	-	-
鯉川合流	7.2	0.8	3.82	0.03	2
氷沢川	7.1	0.8	1.85	0.03	2
新開橋下	7.3	1.9	2.37	0.03	0
参考値(※1)	6.5~8.5	1mg/l以下	基準なし	0.1mg/l以下	20CFU/100ml以下

※1 湧水の環境基準がないため、河川AA類型（秋川・平井川・養沢川）の環境基準値を参考値として記載する。

※2 平沢617・折立坂・南秋留小横・北裏水路・北川原・ふれあい橋では、湧水が確認できなかったため、調査を行っていない。

(3) 地下水汚染調査（採取日 令和4年4月14日）

（単位：mg/l）

調査地点 調査項目	草花1	草花2	野 辺	雨 間	湧 上	伊 奈	留 原	環境基準
	2672 番地	1837 番地	408 番地	652 番地	312 番地	1133 番地	83 番地	(水道水の水質 基準)
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下

1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 mg/l 以下
----------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-----------

※ 全ての地点、全ての項目について環境基準を満たしていた。

(4) その他の水質関係調査

ア 工場等排水調査	年1回	9事業場
イ ゴルフ場水質調査	年1回	2箇所
ウ 秋川・平井川大腸菌調査（ふん便性）	年1回	11箇所
エ 多摩川及び関連河川水質合同調査	年2回	2箇所
オ 秋川・平井川水生生物調査	年2回	6箇所

(5) 一般大気環境調査（粉じん）（単位：mg/m³）

調査地点	令和4年度
屋城小学校	0.0258
農業会館	0.0311
一の谷児童館	0.0178
いきいきセンター	0.0129
阿伎留医療センター	0.0218
秋川給食センター	0.0722
汚泥再生処理センター （旧秋川衛生組合）	0.0283
野辺地内	0.0166
草花地内	0.0294
あきる野市役所	0.0206
五日市センター	0.0085
留原自治会館	0.0111
五日市出張所	0.0157
横沢クラブ	0.0129
ファインプラザ	0.0165
環境基準	1時間値の1日平均値が 0.10mg/m ³ 以下かつ1時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること

※1 測定日：令和5年1月26日～27日（24時間）

※2 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(6) 市内主要地点での二酸化窒素調査（簡易調査法（フィルターバッチ法）による）（単位：ppm）

地名	5月	9月	11月	2月	平均値
野辺交差点	0.011	0.011	0.014	0.007	0.011
小川交差点	0.015	0.012	0.018	0.007	0.013
二宮本宿交差点	0.012	0.009	0.016	0.007	0.011
氷沢橋交差点	0.010	0.008	0.014	0.006	0.010
菅生交差点	0.012	0.011	0.017	0.007	0.012
上菅生バス停	0.006	0.004	0.006	0.003	0.005
瀬戸岡交差点	0.009	0.010	0.016	0.007	0.011
秋川交差点（西秋留）	0.010	0.008	0.012	0.008	0.010
秋川駅西踏切	0.017	0.018	0.014	0.013	0.016
油平交差点	0.011	0.011	0.014	0.011	0.012
秋留橋	0.018	0.016	0.017	0.016	0.017
湊上交差点	0.011	0.009	0.014	0.011	0.011
山田交差点	0.010	0.008	0.010	0.009	0.009
留原交差点	0.006	0.005	0.007	0.006	0.006

小中野交差点	0.006	-	0.006	0.005	0.006
十里木交差点	0.004	0.004	0.007	0.006	0.005
青木平橋入口	0.003	0.004	0.007	0.005	0.005
小宮ふるさと自然体験 学校入口	0.001	0.002	0.003	0.003	0.002
五日市出張所	0.003	0.003	0.005	0.004	0.004
東町交差点	0.007	0.005	0.010	0.009	0.008
武蔵五日市駅前	0.008	0.006	0.011	0.009	0.009
小机バス停	0.011	0.006	0.015	0.009	0.010
全地点の平均濃度	0.009	0.008	0.012	0.008	0.009
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04~0.06までのゾーン内又はそれ以下				

※1 小中野交差点の9月分については、フィルターバッチ紛失により調査できなかった。

※2 全ての調査日、全ての地点で環境基準を満たしていた。

(7) 大気中ダイオキシン類調査 (単位: pg-TEQ/m³)

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
0.013	0.011	0.60以下

※1 測定日: 令和4年8月17日~8月24日(168時間)

※2 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(8) その他の調査

- ア 工場等臭気調査 年1回 2工場
- イ 道路沿道環境調査 年1回 4地点(交通量、騒音調査)
- ウ 採石場周辺環境調査 年4回 粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査
- エ 事業所関連環境調査 対象事業所2社(水質関係)

(9) 多摩西部における光化学スモッグの状況

ア 月別 ()内は都内全域の件数 (単位: 件)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
学校情報	0(1)	1(1)	2(4)	1(6)	0(5)	0(0)	0(0)	4(17)
注意報	0(0)	0(0)	1(3)	0(2)	0(2)	0(0)	0(0)	1(7)
警報	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

イ 経年変化

年度	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
注意報発令回数	4	0	1	2	1	0	0	1

6 石綿特定粉じん排出等事前調査結果報告(法第18条の15第6項)

解体	改修	合計	立入り件数
123	134	257	39

7 空間放射線測定

定点測定 6箇所 4回測定実施(原則として3か月に1回)

8 環境啓発事業

廃食油からの石鹼づくり事業 年間1回実施

1 ごみ処理事業

(1) ごみ収集実績

分別区分	収集量及び 持込み量(t)		収集 日数	収集日1日当 り収集量(t)	行政区域内人口 (収集人口)	1人1日 排出量(g)		
	収 集	持 込 み						
可 燃 ご み	収 集	17,077	103	165.796	79,904	585.5		
	持 込 み	180				6.2		
不 燃 ご み	収 集	337	24	14.042		11.6		
	持 込 み	1				0.0		
資 源	収 集	3,821	48	79.604		131.0		
	うちペットボトル	198				(24)	8.250	6.8
	うち白色トレイ	2				(24)	0.083	0.1
	うち小型電子機器	56				(24)	2.333	1.9
有 害 ご み	収 集	34	(24)	1.417		1.2		
粗 大 ご み	収 集	342	(129)	2.651		11.7		
	持 込 み	623			21.4			
総	量	22,415			768.6			

※1 行政区域内人口及び収集人口は、令和4年10月1日現在

※2 ()内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

※3 1人1日排出量(g)は、365日で除する。

(2) 犬猫等死体処理

(単位：頭)

区 分	犬	猫	その他	合 計
有 料	21	23	8	52
無 料	2	74	219	295
合 計	23	97	227	347

※ 飼主のいる場合は、有料(1頭につき2,200円)、飼主不明の場合は無料

その他の欄の有料はウサギ・鳥等のペット、無料は主にハクビシン、たぬき、野鳥など。

(3) ごみ収集業者及び収集区域

業 者	区 域
島田産業(有)	雨間・野辺・小川・二宮・平沢・牛沼・秋留等
浦野産業(株)	草花・瀬戸岡・引田・瀏上・秋川等
(株)鈴木商店	雨間・切欠・菅生・牛沼・大規模事業所
松村ダスト(有)	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

(4) 粗大ごみ収集件数

業 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
島田産業(有)	383	338	322	360	289	293	393
浦野産業(株)	393	436	441	350	426	403	470
松村ダスト(有)	143	237	194	206	198	172	182
合 計	919	1,011	957	916	913	868	1,045
業 者	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
島田産業(有)	325	413	269	205	284	3,874	
浦野産業(株)	459	551	309	280	383	4,901	
松村ダスト(有)	248	155	159	164	175	2,233	
合 計	1,032	1,119	737	649	842	11,008	

(5) 減免用ごみ袋交付事業実績

該当項目	A	B	C	D	E	H	I	J	合計
減免世帯数	504	534	106	7	1,431	99	13	8	2,702

- A 生活保護受給世帯
- B 児童扶養手当受給世帯
- C 特別児童扶養手当受給世帯
- D 国民年金の遺族基礎年金受給世帯
- E 65歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯
- H 身体障害者福祉法により1級又は2級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯
- I 東京都愛の手帳交付要綱により、1度又は2度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯
- J 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

(6) ボランティア袋配布事業実績 (1組10枚)

番号	配布場所		可燃 (大)	可燃 (小)	不燃 (大)	不燃 (小)	合計
1	生活環境課	配布組数	1,063	246	89	51	1,449
2	宿直室	配布組数	16	7	0	1	24
3	市民課窓口	配布組数	4	1	0	0	5
4	あきる野ルピア	配布組数	50	14	1	3	68
5	五日市ファインプラザ	配布組数	130	16	3	1	150
6	五日市出張所	配布組数	93	55	18	19	185
7	中央公民館	配布組数	44	5	6	1	56
8	いきいきセンター	配布組数	5	2	0	1	8
9	中央図書館増戸分室	配布組数	1	2	0	0	3
10	西秋川衛生組合	配布組数	2	0	0	0	2
合計		配布組数	1,408	348	117	77	1,950

2 し尿処理事業

(1) し尿処理実績

(人口は令和4年10月1日現在)

行政区域内 人口	総収集量 (kℓ)	収集日数 (日)	1日収集量 (kℓ)	収集人口 (人)	1人1日 排出量 (ℓ)
79,904	1,723	243	7.091	606	7.79

※ 1人1日排出量 (ℓ) は、365日で除する。

(2) し尿処理業者及び収集区域

業者	サンエー(有)	(有)五日市清掃
区域	秋川地区	五日市地区

3 一般廃棄物処理手数料徴収事務

(単位:円)

区分	予算現額	調定額	収入額	不納 欠損額	還付 未済額	収入 未済額
家庭ごみ	182,739,000	185,104,070	185,104,070	0	0	0
事業所ごみ	54,143,000	53,137,800	53,137,800	0	0	0
粗大ごみ	13,536,000	10,710,700	10,710,700	0	0	0
し尿	4,800,000	5,632,200	5,586,700	2,500	14,500	57,500
動物死体処理	121,000	114,400	114,400	0	0	0
臨時多量ごみ	1,634,000	1,995,000	1,995,000	0	0	0
合計	256,973,000	256,694,170	256,648,670	2,500	14,500	57,500

4 一般廃棄物処理施設見学

西秋川衛生組合ごみ処理施設について、以下の人数の見学を受け入れた。

小学校等の教育機関 0 団体 0 人
 一般団体（小学校等の教育機関を除く） 2 団体 11 人

5 あきる野市廃棄物減量等推進審議会

一般廃棄物処理基本計画等について審議した。

(1) 委員 11 人

(2) 審議会開催状況

開催日	内 容
令和4年10月18日	1 一般廃棄物処理基本計画（案）について 2 動物死体処理手数料の改定について
令和5年 1月16日	1 一般廃棄物処理基本計画（案）について 2 プラスチック使用製品の再資源化について 3 答申書（案）について
2月15日	1 一般廃棄物処理基本計画（案）について 2 答申書（案）について

6 あきる野市災害廃棄物処理計画の策定

災害廃棄物を適正かつ迅速に処理することにより、公衆衛生の確保、生活環境の保全及び早期の復旧・復興を実現することを目的として、環境省モデル事業により、令和4年6月に策定した。

7 ごみ減量化・資源化事業

(1) イベント関係 あきる野環境フェスティバル2022（新型コロナ対策のため中止）

(2) 資源集団回収事業

ア 回収実績等

(ア) 登録団体数 103 団体

(イ) 実施回数 842 回

(ウ) 奨励金額 21,027,513 円（紙類等取引料 5,008,170 円含む。）

(エ) 回収量 (単位：kg)

紙 類	鉄 類	アルミ類・銅等の金属	ビン類	ビンケース	合計
1,669,390	30,679	30,074	18,935	102	1,749,180

イ 資源集団回収団体表彰 優良3 団体

(3) EM菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア 令和4年度貸与数 120 世帯・ 229 個

イ 通算貸与数 3,061 世帯・ 5,998 個

(4) 環境問題啓発絵画・ポスター作品展示

ア 対象者 市内小学校4年生から中学校3年生まで

イ 応募数 354 点（小学校115 点、中学校239 点）

ウ 審査結果 入賞15 点（小学校5 点、中学校10 点）

エ 展示期間 令和4年11月28日から12月4日まで

オ 展示場所 中央図書館1階ホール

カ 市内指定ごみ収集袋販売店44店舗に優秀作品を活用した啓発ポスターを掲出

(5) 廃棄物減量等推進員（ごみ会議）活動実績

- ア 会議 11 回開催（全体会議 8 回、編集会議 3 回）
- イ ごみ情報誌「へらすぞう」発行 1 回
- ウ 生ごみ堆肥化講習会 8 回 140 人参加（草花小出張堆肥化講習会参加者を含む）

(6) フードドライブ事業食品収集及び提供実績（10 月、1 月 2 回実施）

- ア 令和 4 年度収集実績

本庁舎	457.6kg	121 件
五日市出張所	161.0kg	30 件
合計	618.6kg	151 件
- イ 令和 4 年度食品提供先 生活困窮相談窓口、子ども子育て支援ネットワーク等

(7) あきる野市プラスチック使用製品の再資源化等に係る調査分析

ごみの組成分析調査や市民の意識・行動の把握等の実態調査・分析に基づき、あきる野市におけるプラスチックの適正な循環利用のあり方を検討することを目的に、都の補助事業を活用し、令和 4 年 12 月に報告書を作成した。

8 不法投棄防止対策事業

(1) 不法投棄防止パトロール事業

週 2 回（年間 104 日間）2 人 1 組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

- ア 回収件数 1,457 件
- イ 回収量 13.550 t
- ウ リサイクル法等対象投棄件数 25 件
- エ リサイクル法等対象投棄の内訳
 - (ア) 家電リサイクル法 4 品目処理件数 25 件
 - (イ) パソコンリサイクル法品目処理件数 0 件
 - (ウ) 自動車リサイクル法品目処理件数 0 件
 - (エ) 処理不能件数 0 件

(2) 河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実施日	作業名	内容
令和 4 年 5 月 29 日（春季）、 令和 4 年 11 月 27 日（秋季）	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協（五日市地区）、PTA 等の協力により、春、秋の 2 回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 春季 参加人員 13,541 人 ごみ収集量 22.25 トン 秋季 参加人員 12,350 人 ごみ収集量 23.18 トン
令和 4 年 4 月 1 日 ～令和 5 年 3 月 31 日	河川等ごみ 収集	あきる野市シルバー人材センター、自治会等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延べ人員 845 人
令和 4 年 4 月 1 日 ～令和 5 年 3 月 5 日	団体による 道路・河川 等清掃	市内小中学校 PTA により、道路や河川等の清掃を実施した。 参加延べ人員 1,656 人 (うち河川は 276 人)

9 斎場事業

(1) 火葬場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	77	69	76	74	87	78	76	81	102	97	113	94	1,024
日の出町	20	26	20	21	34	22	28	27	32	36	20	25	311
檜原村	3	8	7	5	6	5	2	5	8	8	6	3	66
奥多摩町	11	14	15	9	14	14	11	12	11	18	12	13	154
組合外	5	10	5	7	7	5	10	9	5	16	21	9	109
合計	116	127	123	116	148	124	127	134	158	175	172	144	1,664

(2) 斎場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	22	21	27	19	28	28	22	31	28	25	35	26	312
日の出町	12	16	6	10	8	5	9	9	11	11	4	11	112
檜原村	1	2	0	2	1	2	0	3	3	1	0	2	17
奥多摩町	2	2	1	3	3	3	3	3	2	6	0	4	32
組合外	2	2	1	3	2	1	2	1	2	2	4	3	25
合計	39	43	35	37	42	39	36	47	46	45	43	46	498

10 家庭用小型焼却炉無料回収事業

令和4年度については、小型焼却炉の回収実績なし。(0件)

11 一般廃棄物収集運搬事業者燃料等価格高騰対策事業

原油価格の高騰の影響を受けているあきる野市一般廃棄物収集運搬事業者に対し、燃料費に係る費用の負担軽減を図るため、影響額を踏まえた支援を行った。

(1) 交付件数 6件(ごみ事業者4件、し尿事業者2件)

(2) 交付金額 1,800,000円(ごみ事業者1,700,000円、し尿事業者100,000円)

農林課 農政係

1 農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数 (延べ利用 団体数)	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
展示室	196	193	194,000	3	6,400
会議室	27	26	20,800	1	2,400
研修室	0	0	0	0	0
集会室	121	97	76,500	24	34,000
合計	344	316	291,300	28	42,800

2 農業振興事業

(1) 農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金 (千円)	利子補給額 (円)	備考
市長が認めた災害復興 資金	3	3,970	5,704	雪害による被災パイプ ハウス等

(2) 市民農園貸付状況等

ア 貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	64	64	42
上ノ台第2農園	76	76	51
森ノ上農園	86	86	54
合計	226	226	147

イ 利用者負担金 1,605,600円

ウ 技術指導員報酬 1,178,052円(管理・指導 年間250日)

3 秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名称	指定管理者	指定期間	令和4年度 利用者数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業協同組合	平成31年4月1日 ～令和6年3月31日	246,386

4 有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実施期間	獣種	実施区域	頭羽数
令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	イノシシ	市内全域(市街地を除く。)	47頭
	サル	五日市地区(市街地を除く。)	1頭
	ハクビシン タヌキ アライグマ アナグマ	市内全域	267頭
	キジバト カラス ドバト	市内全域(市街地を除く。)	151羽

	ムクドリ ヒヨドリ		
	シカ	市内全域（市街地を除く。）	8頭

5 獣害防止対策事業

(1) 獣害防止警戒システム整備事業委託

- ア 委託先 東京都猟友会五日市地区
- イ 委託業務 サルの追い払い
五日市地区（五日市・戸倉・小宮地区）2人 150日間
- ウ 委託料 4,328,000円

(2) 加害獣侵入防止対策事業

- ア 簡易電気柵貸出件数 57件
- イ 電気柵設置補助 寺岡地区 329.5m 1,809,192円

(3) 有害鳥獣捕獲支援事業

- ア 有害鳥獣捕獲業務委託 2,850,000円
- イ 有害鳥獣絶命処分業務委託（ハクビシン等） 210,000円
- ウ 有害鳥獣捕獲業務委託（カラス等） 100,000円

(4) あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

- ア 保険加入補助 25件 38,200円
- イ 技能講習補助 5件 63,500円
- ウ 診断書料補助 4件 10,500円

6 地域農政推進対策事業

(1) 認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開催日	内容
令和4年9月28日	令和3年度事業報告について 令和4年度事業計画（案）について 令和4年度アクションプログラム（案）について 青年等就農計画認定審査 新規就農者提案型農業経営支援事業プレゼン発表
令和5年2月6日	農業経営改善計画認定審査（更新・新規認定） 青年等就農計画認定審査

(2) 新規就農者相談センターの設置

新規就農者相談員を1人配置し、新規就農を目指す者に対して支援を行った。
支援対象者 12件

(3) 認定新規就農者

3戸の認定新規就農者が、新たな担い手候補として営農開始することができ、農業経営者の育成を進めることができた。

7 畜産振興事業

家畜公害防止奨励事業

都市化が進行する中で、近隣住民等に理解が得られる生活環境とするため、農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

交付金額 180,000円

8 自然休養村事業

(1) 戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 [利用日数] (利用団体数)	使 用 料			
	徴 収 分		減 免 分	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
192 [144] (22)	89	167,200	103	155,200

(2) 運動場整備委託

- ア 草刈作業委託 7回
- イ シルバー人材センター等 223,820円

9 用排水路整備事業

用排水路清掃委託

番 号	件 名	金 額 (円)
1	東郷前用排水路	297,000
2	下河原用水ポンプ室上下流部	500,500
3	南郷用排水路	247,500
4	下代継用排水路	297,000
5	西郷用排水路	179,300
6	小庄用排水路	298,760
7	高瀬用排水路	154,000

10 農業振興地域農用地証明書発行件数 7件

11 農業団体育成事業

(1) 農業振興事業業務委託

あきる野市農業振興会 1,390,000円

(2) 主な事業内容

ア 家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種等を行い、伝染病の発生を未然に防いだ。

(ア) IBR予防接種

4酪農家の乳牛96頭に六種混合を接種した。

(イ) 鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

2養鶏農家の13,800羽に接種した。

(ウ) ヨーネ病検査

4酪農家の乳牛102頭にヨーネ病検査を実施した。

イ 畜産公害対策事業

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家(7戸)が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

ウ 農業後継者育成対策事業

将来の農業のあり方・多様化した農業の諸問題について研究するため、農業後継者部が交流

会等を実施した。

エ 農畜産物生産技術育成事業

優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液を導入し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

オ 先進地視察研修等事業

部会等	開催日	内容
農産物生産部	令和4年10月29日 令和5年1月25日	「東京都農業祭」視察 東京国際フォーラム 「第71回関東東海花の展覧会」出品 池袋
後継者部	令和5年1月17日 ～1月18日	「農研機構」、「みずほの村」及び「道の駅ひたちおた」視察 茨城県

カ 農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をPRするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることで、農業振興を図った。

(ア) 第26回あきる野市産業祭参加 令和4年11月12日、13日

- a 農産物品評会 出品点数247点
- b たい肥の無料配布 先着150人
- c 仔牛の写生会 参加者100人
- d のらぼう菜苗の無料配布 各日先着100人
- e おやしき・さつまスティックの販売

(イ) 立毛審査会の実施 令和4年6月14日 対象作物「施設栽培トマト」 参加者5人

(ウ) 農業用資材の調査研究

環境に優しい農業資材（生分解性マルチフィルム）の調査研究

(エ) 緑肥事業の実施

土壌改良・緑肥用のヒマワリの種をまき、次期作で緑肥をすき込んだ結果を報告
参加者12人

(オ) 農産物盗難防止活動 令和4年6月6日から9月30日まで

盗難防止看板の設置及びパトロール

(カ) 農業振興会だよりの発行 年2回発行（6月、1月）

12 田園景観保全事業

引田地区及び小庄地区の水田にレンゲソウの種子を蒔き、景観整備を行った。

13 農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積事業

利用権の設定

- (1) 件数 22件（30筆） (3) 契約期間 1年～10年
- (2) 面積 31,557㎡

14 新規就農者提案型農業経営支援事業

市内で新たに農業経営を始める農業者に対し、農業経営を行うために必要な施設、機械等の購入に要する経費の一部について補助を行った。

- (1) 補助対象者 新規就農者 1戸
- (2) 補助事業の内容 マルチャー、ネギ定植機、小型管理機、播種機アタッチメント、管理機アタッチメント
- (3) 補助金額 447,000円

15 農業次世代人材投資事業

国の農業次世代強化総合支援事業実施要綱に基づき、農業従事者の減少及び高齢化に対応するため、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、あきる野市農業次世代人材投資資金を交付した。

- (1) 交付対象者 新規就農者 2戸
- (2) 交付金額 3,000,000円

16 魚道維持管理事業

「魚が常に溯上、降下できる河川」を実現するために、秋川漁業協同組合等の関係団体・機関が現状における管理上の問題点や課題に係る情報を共有しつつ、魚道の維持管理を行った。

番 号	件 名	金 額 (円)
1	魚道維持管理委託 下代継堰内	270,600
2	魚道維持管理委託 引田堰内	270,600
3	魚道維持管理委託 小庄堰内	292,600

17 農道補修工事

番 号	件 名	金 額 (円)
1	農道補修工事(舗装・雨水枡) 山田地内	283,800
2	農道補修工事(舗装・雨水枡) 上ノ台地内	295,900
3	農道補修工事(舗装・雨水枡) 上ノ台・山田地内	298,100

18 新規就農者定着支援施設整備事業

「東京の農業」を担うことが期待される新規就農者に対し、就農に必要な施設や農業用機械等の導入を支援することで、早期に安定した経営の開始ができるようにした。

- (1) 補助対象者 市内農家1戸
- (2) 補助事業内容 パイプハウス2連棟+風除室、イチゴ栽培システム一式、暖房機1台
CO2発生装置1台、環境制御装置1台、細霧冷房(ミスト)1式、
育苗用ハウス1棟、養液栽培システム一式、防除機材類一式
- (3) 補助金額 26,392,000円

19 都市農業経営力強化事業

意欲のある農業者に対して都市の有利性を活かした農業経営力を強化するため、施設や農機具等の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質の向上、高付加価値化を実現した。また、市民等に新鮮で安全な農畜産物を1年間通じて供給することで、地産地消型農業を推進した。

- (1) 補助対象者 市内農家3戸
- (2) 補助事業内容 蒸気土壤消毒機1台、パイプハウス2棟、搾乳設備一式

(3) 補助金額 18,938,000円

20 農業者燃料等価格高騰対策支援事業

原油価格・物価高騰の影響を受けている市内の農業者・畜産業者に、肥料・飼料・燃料（電気・水道・ガソリン代など）に係る費用の負担軽減を目的として支援金を支給し、経営の安定化を図った。

(1) 支援金支給者 市内の農家及び畜産農家57戸

(2) 支援事業内容 支援対象経費（令和3年中経費）に支援率を乗じて得た金額の合計額を支援金として支給

支援対象経費：肥料費の40% 支援率：30%

支援対象経費：飼料費 支援率：40%

支援対象経費：燃料費 支援率：20%

（支援上限額 農家200,000円、畜産農家500,000円）

(3) 支援金額 8,567,000円

農林課 林務係

1 市有林整備事業

市が直接管理している森林の保育・管理等を計画的に実施した。

- (1) 面積 3.08 ha
 (2) 事業費 2,752,640円

施 業 場 所	面積 (ha)	内 容
あきる野市戸倉地内	1.39	枝打工
あきる野市乙津地内	1.03	大刈工
あきる野市戸倉地内	0.26	間伐工
あきる野市深沢地内	0.40	大刈工

2 林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、改良を進めるとともに、市が管理する全15路線でおおむね1か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施した。

工 事 件 名	工 事 内 容	工 事 費 (円)
林道大ナベリ沢線開設工事	工事施工延長L=20.9m 幅員L=3.0m 路面工A=65.2㎡ L型側溝工L=19.8m ガードレール設置工L=20.4m 法面工A=108.5㎡ 2段式擁壁工L=7.7m 補強土壁工A=174.2㎡(壁面面積) 横断側溝工L=4.0m 管きょ工L=25.0m他	41,944,100
林道南沢線災害復旧工事	工事施工延長L=46.5m 幅員L=53.9m 法面工A=192.1㎡ 暗渠排水工L=237.4m 木柵工L=26.4m 排水パイプ設置工N=93本 緑化基材工A=86.6㎡ かご枠工A=36.0㎡他	29,579,000
林道維持補修工事 (林道南沢線外4路線)	練石積工等	3,527,700

3 森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林について、3割間伐を実施した(現地確認実施)。

- (1) 協定書締結件数 19件
 (2) 実施面積 61.17 ha
 (3) 事業費 49,778,097円(東京都負担)

4 枝打ち事業

過去に森林再生事業(間伐)を実施した森林について、枝下から一律4.0mの枝打ちを実施し

た。

- (1) 承諾者数 11人
- (2) 実施面積 10.71ha
- (3) 事業費 17,598,773円(東京都負担)

5 森林計画関係

- (1) 森林整備推進協議会 1回(書面開催)
- (2) 森林経営計画認定及び変更認定 27件
- (3) 森林経営計画認定同意及び変更認定同意(属人計画) 5件
- (4) 森林経営計画認定区域外伐採届(森林法第10条の8)処理 27件
- (5) 森林経営計画認定区域伐採届(森林法第15条)処理 6件
- (6) 保安林内間伐届(森林法第34条)受理通知処理 4件
- (7) 森林の土地の所有者届出書受理及び通知 3件

6 採石事業関係

- (1) 採石生産量報告書受理件数 24件(2社)
- (2) 採石場パトロール 令和4年11月15日実施(2か所)

7 治山事業

- (1) 治山工事協議(現地確認) 2か所
- (2) 治山工事に伴う測量設計・調査等(東京都施工) 4件
- (3) 治山工事(東京都施工) 4か所(養沢地内他)

8 他自治体等との連携事業

- (1) みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議
 - ア みなと区民の森調整連絡会 新型コロナ対策のため中止
 - イ みなと区民の森環境学習(間伐体験・生き物観察) 57回
 - ウ みなと森と水ネットワーク会議 2回
 - エ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業者追加登録件数 1件
 - オ みなとモデル二酸化炭素固定認証書発行件数 0件
- (2) 新宿の森 あきる野
 - 「新宿の森 あきる野」自然体験ツアー 新型コロナ対策のため中止
- (3) サントリー天然水の森奥多摩
 - ア 間伐 1.67ha
 - イ その他 パタ柵運搬・設置

9 森林環境保全事業

森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づき、所有者不明や境界未確定により荒廃した森林を整備するほか、搬出困難箇所の森林整備、森林・林業の普及啓発、多摩産材の利用促進等に係る事業を実施した。

- (1) 地域林政アドバイザーの雇用

市内の森林や森林整備事業の精通者を雇用し、職員や事業者に対する助言や森林経営管理制度

の運用に向けた現地調査等を実施した。

ア 人数 1人 イ 出勤日数 120日

(2) 多摩産材の利用促進等

ア PRパンフレットの配付

事業者と連携して作成したPRパンフレットを都内の自治体等に配付した。

(ア) 部数 500部

(イ) 配付先 47区市町、関係機関等

イ 普及啓発事業の実施

多摩産材の認知度や林業に対する関心を向上させる試みとして実施した。

(ア) 多摩産材出前授業

a 実施日 令和5年3月9日

b 場所 あきる野市立草花小学校(1校)

c 参加者数 104人

(イ) 林業現場見学会

a 実施日 令和5年3月4日、3月22日

b 場所 市有林～戸倉しろやまテラス～森林循環促進事業地(刈寄)～秋川溪谷瀬音の湯

c 参加者数 12人

(3) 森林クラウドシステムの活用

近隣市町村とともに東京都森林GISクラウドシステムを利用し、森林整備事業や林地台帳の運用に活用した。

ア 利用自治体数 6市町村 イ 閲覧・写しの交付件数 0件(公用)

(4) 東京都森林経営管理制度協議会の運営

森林経営管理制度に基づく森林整備及び森林環境譲与税の活用による自治体連携の推進を図るため、東京都及び近隣市町村により東京都森林経営管理制度協議会を運営した。

ア 構成自治体数 6市町村

イ 事業内容 意向調査(10件、3.06ha)、会議の開催、事務局運営等

(5) 森林境界明確化事業

森林の適切な整備を広げていくため、森林境界が不明瞭な箇所境界明確化事業を実施した。

ア 場所 あきる野市三内地内 ウ 対象面積 1.87ha

イ 対象地権者 8名

(6) 搬出困難地における森林整備事業

山地災害の予防や花粉発生源対策の推進を図るため、伐採木の搬出が困難で未整備となっている人家や公共施設等に隣接する伐採・整備を実施した。

ア 場所 あきる野市養沢地内 イ 伐採・整備面積 0.042ha

10 林業振興事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格・物価高騰により影響を受けた林業者に対し、燃料等に係る費用の負担軽減を目的とした支援金を給付した。

(1) 給付件数 7件

(2) 給付金額 1,180,000円

1 商工業振興事業

市内商工業の振興及び発展を図るため、商工会や商店会への補助のほか、イベント開催の支援等を行った。また、市内中小企業の健全な育成及び経営改善を図るため、融資及び利子補給事業を行った。

(1) 商工振興補助事業

ア あきる野市商工会補助事業

商工会事業補助額 25,650,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修工事等助成事業

商工会事業補助額 10,000,000円

地域経済の活性化につながる需要の喚起を促進するため、個人住宅の改修工事等の一部を助成した。

a 補助決定数 204件

b 助成金額 11,957,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信支援事業

商工会事業補助額 500,000円

包括的な相互協力・連携に関する協定を締結している学校法人明星学苑明星大学の学生の協力により「武蔵増戸グルメマップ」を作成し、広く情報発信するために公共施設や駅・店舗へ配置した。

(ウ) まちゼミ事業

商工会事業補助額 800,000円

店主と消費者との接点を増やし、来客数増加による経済効果と認知度の向上を図るため、店主が講師となって、専門知識などを無料で受講者に提供する「まちゼミ」を行った。

a 実施期間 令和4年10月1日から11月15日まで

b 参加店舗 25店舗

c 開催講座 40講座

d 参加者 308人

ウ 創業就労支援事業

商工会事業補助額 14,300,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Staにおいて、創業、就労、事業承継に係る相談業務などを実施し、市内事業者を支援した。

(ア) 相談実績451件（創業相談336件、就労相談60件、事業承継相談7件、スモールオフィス相談44件、チャレンジショップ相談4件）

(イ) 創業実績 15件

(ウ) 創業塾 令和4年10月1日から29日まで（全5回） 参加者18人

(エ) チャレンジショップ利用実績 2件

(オ) スモール・オフィス利用実績 44件

(カ) ミニセミナー 11回 参加者34人

(キ) 事業承継セミナー 令和5年3月16日 参加者1人

(ク) Bi@Sta利用者・創業者交流会 令和4年12月10日 参加者22人

エ 商店街振興補助事業

(ア) イベント事業 (東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。)

商店会名	事業名	補助額(円)
あきる野商店会連合会	あきる野商店会連合会お花プレゼントセール	313,000
	感謝祭・お花プレゼントセール	544,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	922,000
	秋川駅北口会ウィンターフェスティバル 大抽選会&秋川ぎょうざフェス	633,000
原店商店会	原店歳末セール	558,000
五日市商和会	お中元大売出し	382,000
	歳末大売出し	452,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	458,000
	ウィンターフェスタ	482,000
二宮商栄会	二宮マルシェ	257,000
増戸商栄会	増戸顔出しパネルラリー	85,000
多西商栄会	感謝セール	120,000
	歳末感謝セール	137,000
雨間商興会	雨間商興会ハロウィンイベント	178,000

(イ) 活性化事業 (東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。)

商店会名	事業名	補助額(円)
野辺商工会	野辺商工会ホームページ作成事業	292,000

オ 商店街装飾灯補助事業 (装飾灯の維持管理経費に対する補助)

商店会名	基数(基)	補助額(円)
原店商店会	LED 34	68,000
五日市商和会	LED 80	160,000

カ 夏まつり補助事業 新型コロナ対策のため中止

キ ヨルイチ補助事業

開催日	令和4年8月27日
場所	檜原街道沿いの地域 (JR武蔵五日市駅~小中野交差点)
来場者数	約20,000人
補助額	676,000円 (第18回ヨルイチ実行委員会補助)

ク 産業祭補助事業

開催日	令和4年11月12日、13日
場所	都立秋留台公園
来場者数	約42,000人 (1日目23,000人、2日目19,000人)
補助額	7,222,684円 (第26回あきる野市産業祭運営委員会補助)

ケ プレミアム付デジタル商品券事業

商工会事業補助額 134,850,125円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域住民の生活支援及びデジタルの力を活用した地域経済の活性化を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行した。

(ア) 商品券の概要

商品券の名称	令和4年度秋川溪谷プレミアム付デジタル商品券
使用期間	令和4年10月17日から令和5年1月31日まで
内容	スマートフォン型商品券及びプリペイドカード型商品券13,000円分を10,000円で販売

商品券の内訳	A券7,000円分(取扱店全店で使用可能) B券6,000円分(大型店で使用不可)
取扱店舗数	374店舗(一般店336店、大型店38店)
販売実績	29,559セット(295,590,000円)
発行総額	384,267,000円
商品券の換金率	382,379,305円(99.5%)

(イ) スマートフォン型商品券

購入対象者	あきる野市・檜原村在住者
発行数	12,982セット
販売期間	(一次販売) 募集期間：令和4年8月15日から9月5日まで 販売期間：令和4年10月17日から11月7日まで (二次販売) 募集期間：令和4年11月17日から11月30日まで 販売期間：令和4年12月12日から12月23日まで

(ウ) プリペイドカード型商品券

購入対象者	あきる野市・檜原村在住者
発行数	16,577セット
販売期間	募集期間：令和4年8月15日から9月5日まで 販売期間：令和4年10月17日から11月7日まで

コ 市内事業者におけるデジタル活用促進事業

商工会事業補助額 10,192,000円

市内事業者のデジタル活用の促進を図るため、あきる野商工会が運用する地域ポイントカード「るのかーど」について、スマートフォンに対応したシステムを導入した。

(ア) 加盟店数 100店舗

(イ) 新るのかーど切替イベント 令和4年12月4日から10日まで 参加者8,991人

(ウ) るのかーどアプリ公開日 令和5年3月18日

(2) 中小企業振興資金融資及び小口零細企業保証資金融資並びに利子補給事業

ア 融資件数 46件

イ 融資額 253,770,000円

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	148	694,458
下半期	157	805,617

ウ 保証料助成額 9件 506,881円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	172	4,047,010
下半期	167	3,673,711

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅周辺地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 5回

イ 実施事業

(ア) イルミネーション事業

a Akiruno Winter Festival 2022 事業

秋川駅周辺地区への誘客及び活性化を図るため、令和4年10月30日から令和5年1月31日まで、秋川駅北口ロータリー、秋川駅南口ロータリー、駅前大通り（30m道路）及び秋留野広場にイルミネーションを設置及び点灯した。

b ブルーライトアップ事業

新型コロナウイルス感染症の対応を最前線で行っている医療従事者等へのエールのため、令和4年4月1日から令和4年6月30日まで、秋川駅北口ロータリー、秋川駅南口ロータリー及び市役所本庁舎南側壁面にブルーライトイルミネーションを設置及び点灯した。

(イ) 秋川駅前ハロウィンイベント事業（秋川駅周辺地区まちづくり推進事業）

秋川駅周辺地区の産業振興を図るため、令和4年10月30日に、秋川駅周辺店舗によるスタンプラリーや秋留野広場でのビンゴ大会などを実施した。

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 全体会議 6回

班長会議 6回

イ 実施事業

(ア) 五日市地区にぎわい創出事業

a 第7回秋川溪谷雛めぐり事業

五日市地域の魅力発信及び誘客促進による地域活性化を図るため、令和5年2月4日から3月5日まで、武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅周辺の商店や公共施設等にお雛様等を展示した。

b 五日市野外上映会及び五日市マーケット

五日市ひろばにおいて、地域の様々な世代の方が交流する場を創出するため、令和4年7月31日に野外上映会及びマルシェを開催した。

(イ) 五日市まちづくり推進事業

a まちづくり通信

五日市地域における店舗情報やイベント情報等をまとめた地域紙である「五日市まちづくり通信」について、五日市、増戸、戸倉及び小宮地区の自治会での回覧や公共施設等へ配置するとともにSNSを活用することで、地域内外に情報発信を行った。

b 空き店舗空き家まち歩きツアー

地域内の空き物件を調査し、賃貸可能な空き家・空き店舗を掘り起こした上で、令和4年11月18日から20日まで、まち歩きをしながら物件を見学する「東京五日市せせらぎ暮らし（まち歩き物件見学ツアー）」を実施し、参加された9人に対し、五日市地域の魅力をPRし、開業・移住への支援を行った。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 9回

イ 実施事業

(ア) 景観整備事業（養沢川沿いの景観整備）

(イ) 果樹園整備事業（ブルーベリー園の整備及びブルーベリーの販売）

(ウ) ホタル育成事業（カワニナ及びホタルの養殖、ホタル観賞会の実施）

(エ) 空き家対策事業（空き家調査及びパンフレットの作成・配布）

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障が生じている中小企業者について、信用保証協会による保証限度額の別枠化を行うため、特定中小企業者として認定した。

- (1) 事業活動の制限（法第2条第5項第2号） 1件
- (2) 突発的災害（自然災害等）（法第2条第5項第4号） 107件
- (3) 業況悪化業種（法第2条第5項第5号） 14件

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

- (1) 新設の届出 0件
- (2) 変更の届出 1件

5 砂利採取法に関する意見聴取

砂利採取事業者の認可更新における東京都からの意見照会を受け、関係団体から意見聴取を行い、その結果を東京都に報告した。

- (1) 新規砂利採取件数 0件
- (2) 継続砂利採取件数 1件

6 消費者行政関係

消費者トラブルの解決を図るため、消費者相談を実施した。また、消費生活の安定及び向上を図るため、講座や啓発事業を実施した。

(1) 消費者相談

- ア 開催日数 94日
- イ 相談件数 224件

(2) 消費者啓発

- ア 新成人への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布
- イ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載
- ウ 消費者被害防止啓発パンフレットの作成・配布
- エ 産業祭会場での消費生活展によるパネル展示や啓発物品の配布

(3) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町及び檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

- ア 連絡会 4回
- イ 講座 2回

開催日	講座名	受講者数(人)
令和4年11月28日	知っておきたい「キャッシュレス決済」の基礎講座	30
令和5年2月16日	「おいしく食べきり食品ロス削減～西多摩産の食材を使ったエシカルレシピ～」	9

7 第26回あきる野市民まつり実行委員会 新型コロナ対策のため中止

8 労働行政関係

ハローワーク及び東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載することで、市民の就職活動を支援した。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 8,414人(求職者8,376人、求人者38人)

イ 就職者 584人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和4年 7月 8日	応募書類の作成、面接の受け方等	20
令和5年 1月13日		18

イ 面接会(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	当日面接人数	採用人数(人)
令和4年 7月 8日	2	4	0
令和5年 1月13日	3	10	1

ウ 就職支援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和4年 4月25日	自己理解・職業理解(座学)	中止
5月30日	応募書類の書き方(座学)	中止
6月27日	面接対策(座学)	9
7月21日	自己理解・職業理解(座学)	21
8月29日	応募書類の書き方(座学)	21
9月26日	面接対策(座学)	20
10月31日	自己理解・職業理解(座学)	17
11月28日	応募書類の書き方(座学)	21
12月27日	面接対策(座学)	18
令和5年 1月30日	自己理解・職業理解(座学)	18
2月27日	応募書類の書き方(座学)	18
3月27日	面接対策(座学)	19

エ お母さんの就職応援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和4年 6月10日	ハローワークの概要	4
9月 9日	就職活動準備	3
12月 9日	応募書類の作成、面接対策	2

オ 就職面接会(東京しごとセンター多摩との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	面接人数(人)	開催場所
令和4年 9月28日	20	23	都立多摩職業能力開発センター
11月11日	19	11	福生市

9 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

使用承認 件数(件)	使用料				使用承認 日数 (日)	使用承認 人数(人)
	件数 (件)	徴収分(円)	件数 (件)	減免分(円)		
32	16	32,200	16	100,600	113	12,070

10 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

地域産業の活性化を図るため、JR青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進した。

(1) 会議

- ア 運営協議会 1回（書面開催）
- イ 事務局会議 4回
- ウ ワーキンググループ 4回

(2) 事業

ア 人材育成事業

- (ア) 新入社員研修（全2回、延べ15人）
- (イ) 中堅社員研修（全2回、延べ11人）
- (ウ) 管理職研修（全2回、延べ6人）

イ 人材確保支援事業

- (ア) 中小企業向けセミナー（瑞穂町役場）

開催日	参加企業数
令和4年11月22日	9社

- (イ) 中途採用向け合同企業説明会（アキシマエンシス、都立多摩職業能力開発センター）

a 事前対策セミナー

開催日	参加者数
令和4年9月14日	12人
令和4年9月28日	16人

b 面接会

開催日	参加者数	参加企業数
令和4年9月28日	23人	5社

ウ 企業間連携事業

- (ア) 企業視察見学会 新型コロナ対策のため中止
- (イ) オンラインセミナー

開催日	参加者数
令和4年11月30日	1人

エ 販路開拓支援事業

- ポータルサイト運営事業 掲載企業数45社

11 あきる野市商店街リノベーション支援事業

空き店舗問題等の課題を抱える商店街地域に対し、外部の専門家を派遣し、地域が主体となり、継続して活動ができる仕組みづくりを支援した。

- 会議 14回

12 栗原市民まつりへの参加

栗原市民まつりが新型コロナ対策により縮小となったため、不参加となった。

13 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定

中小企業の実産性向上を図るため、生産性向上特別措置法に基づき市内中小企業の先端設備等導入計画を認定し、設備投資を支援した。

- (1) 先端設備等導入計画の認定を受けた事業者 4事業者
- (2) 提出済みの先端設備等導入計画を変更した事業者 1事業者

14 経営相談支援事業（感染症緊急経営支援事業）

商工会事業補助額 5,500,000円

新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けている市内事業者の経営安定化を図るため、事業者向け特別相談窓口を設置し、事業再建計画の策定や資金繰りの相談等の支援を行った。

- (1) 実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
- (2) 相談件数 265件

15 あきる野市商工業振興プラン策定委員会

商店街振興プラン及び行動計画の計画期間が終了することから、商店街を含む商業とともに工業を含めた地域経済全体の活性化を目的した「あきる野市商工業振興プラン」を策定するため、あきる野市商工業振興プラン策定委員会を設置し、策定に関して必要な事項について検討した。

	開催日	内容（議事等）
第1回	令和4年 4月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・あきる野市商工業振興プランについて ・策定スケジュールについて ・商工業者実態調査の実施について
第2回	8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業者実態調査アンケートの集計結果について ・あきる野市商工業振興プラン骨子（案）について
第3回	10月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・あきる野市商工業振興プラン（素案）について
第4回	令和5年 2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントについて ・あきる野市商工業振興プランの策定について

1 秋川溪谷観光推進事業

秋川溪谷を活用した観光推進を図るとともに、五日市地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

次年度の本格的な事業再開に向け、観光ボランティアガイド連絡会を開催した。

なお、武蔵五日市駅前観光ガイドについては、新型コロナ対策のため中止とした。

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業）

開催日	事業名
令和4年 4月 3日	第14回ハセツネ30K大会 (新型コロナ対策のため中止)
令和4年 4月 9日	第14回ハセツネ30K大会春のグリーンフェスティバル (新型コロナ対策のため中止)
令和4年 4月16日 5月22日 6月18日 7月 9日 8月20日 10月15日 11月19日 令和5年 3月18日	五市マルシェ
令和4年 6月17日 ～7月10日	秋川溪谷あじさいまつり
令和4年10月 9日 10日	第30回日本山岳耐久レース(24時間以内)～「長谷川恒男Cup」
令和4年10月15日	第30回日本山岳耐久レース(24時間以内)～長谷川恒男Cup 秋のグリーンフェスティバル
令和4年11月19日	第4回秋川流域花火大会
令和4年11月19日 令和5年 2月18日	秋川“四季の奏で”音楽会／秋川クリーンアップ活動
令和4年 8月20日 21日 11月27日	第3回きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～
令和5年 1月 1日 ～3日	武蔵五日市七福神巡り
令和5年 3月18日	あきる野の奏で ハルイチ

(3) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

ア あきる野・日の出・檜原地域観光まちづくり推進協議会事業 新型コロナ対策のため中止

イ 秋川流域観光フェア

開催日	令和4年7月23日
場所	イオンモール日の出 1階メインコート
内容	観光パンフレットの配布、特産品販売

(4) 秋川溪谷Wi-Fi整備

公衆無線LAN「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、公共施設10箇所、民間事業所3箇所サービスを提供した。

アクセス回数（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

13箇所合計 46,291アクセス

(5) 観光用デジタルサイネージ整備

多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）については、通常、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知などに活用し、観光情報を発信している。なお、令和4年10月31日までは、新型コロナ対策のため臨時休業等を行った観光施設等の情報発信を行った。

(6) 広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、大月市、都留市、相模原市及びあきる野市の5市（以下「連携5市」という。）で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

(ア) 観光情報ポータルサイトの運用

連携5市により立ち上げた英語版観光情報ポータルサイトを運用し、情報を発信した。

a 広域周遊ルートの掲載

テーマ別に設定した広域周遊ルートを観光情報ポータルサイトで紹介した。

b 体験メニューの掲載

歴史・文化や伝統工芸などの体験メニューを観光情報ポータルサイトで紹介した。

イ 秋川渓谷観光経済統計調査事業

あきる野市、檜原村及び日の出町の3市町村における観光産業がもたらす経済効果等を把握するための調査を行った。

また、あきる野市、檜原村、日の出町、あきる野商工会、日の出町商工会、あきる野市観光協会、檜原村観光協会、日の出町観光協会、秋川渓谷旅館組合で組織する秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会を開催し、調査報告及び意見交換を行うとともに、地域関係者等に向けた事業説明会を開催し、調査の分析結果を共有することができた。

(ア) 観光地点入込客数調査

国内外の旅行者が秋川渓谷を訪問した実態を調査し、観光が地域経済に与える効果を計量的に把握するため、主要観光施設、行祭事・イベント数及び宿泊施設の調査を実施した。

(イ) 観光地点パラメータ調査

観光地点を訪れた来訪者の属性や一人当たりの消費額、訪問地点数、満足度などを把握するため、5月と7月に調査を実施した。

(ウ) 経済波及効果の算出及び分析

公益財団法人日本交通社が公開している「観光経済波及効果簡易推計システム」を用いて、あきる野市、檜原村及び日の出町の各市町村における観光産業が地域にもたらす経済効果を把握した。

(エ) 事業連絡会の実施

令和5年3月17日

(オ) 事業説明会

令和5年3月17日 参加者62人

(7) ふるさと文化創生事業

地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするため、平成25年度に作成した「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」について、令和4年度も引き続き観光案内所等で配布し、郷土愛の醸成を図った。

ア あきる野市ゆかりの人事業

あきる野市ゆかりの人展示

開催日 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（年末年始を除く。）

来場者数 31人

イ あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として認定しており、令和4年度は、新たに2人の匠を認定した。14人の「あきる野の匠」が手掛ける魅力ある商品等を市内外問わず広く発信し、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、もって観光客の増加及び郷土愛の醸成を図った。

(8) デザインマンホール蓋設置・活用等推進事業

観光客の誘客及び地域活性化を図るため、デザインマンホールが描かれた2種類のマンホールカードを作成し、配布した。

ア 森っこサンちゃん「お祭り」版 配布枚数 3,532枚

イ 森っこサンちゃん「石舟橋」版 配布枚数 4,631枚

2 秋川溪谷観光プロモーション事業

秋川溪谷のブランド化を図るため、「秋川溪谷の魅力」を伝える観光プロモーション事業を展開した。

(1) 民間事業者等との連携による観光プロモーション事業

ア 秋川溪谷観光関係機関連絡会との連携事業 新型コロナ対策のため中止

イ 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）との連携事業 新型コロナ対策のため中止

ウ 東日本旅客鉄道株式会社（JR）との連携事業

（ア）「青梅線・五日市線」観光キャンペーン

JRの首都圏7支社で展開する観光キャンペーンにおいて、秋川溪谷の魅力を紹介した。

a 観光ポスターの掲出

掲出期間	場所	枚数
令和4年4月上旬～6月末	首都圏本部、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社及び千葉支社管轄の主要駅	1,000枚
令和4年9月下旬～10月下旬	首都圏本部、横浜支社、八王子支社、大宮支社及び千葉支社管轄の主要駅	750枚

b 観光キャラバン

JR東日本八王子支社が主催となり、青梅市及び奥多摩町とともに、公式マスコットキャラクターのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光PR活動を実施した。

開催期間	場所	配布物
令和4年 4月16日	三鷹駅、立川駅	観光パンフレットなど (1,600部)
令和4年 5月28日	東京駅、新宿駅	観光パンフレットなど (1,500部)
令和4年 6月 1日	川崎駅、武蔵溝ノ口駅	観光パンフレットなど (1,300部)
令和4年11月 2日	赤羽駅、新宿駅	観光パンフレットなど (1,000部)
令和4年11月 8日	登戸駅、武蔵溝ノ口駅	観光パンフレットなど (1,000部)

令和4年11月11日	立川駅、三鷹駅	観光パンフレットなど (1,000部)
------------	---------	------------------------

(イ) 駅からハイキング

秋川渓谷への誘客を図るため、観光スポット等をめぐるウォーキングイベントを開催した。

開催日	コース名	参加者数
令和4年 6月11日 ～7月10日	～秋川渓谷～花咲翁さんのあじさい山と五日市の街をめぐり	1,042人
令和4年11月1日～ 11月20日	～秋川渓谷～都心から約60分の大自然で紅葉めぐり	756人

エ 西多摩地域広域行政圏協議会主催事業

西多摩地域8市町村の協働による観光客誘致PRを実施した。

開催日	令和4年9月24日、25日
場 所	イオンモール日の出 1階メインコート
内 容	観光パンフレットの配布、森っこサンちゃんグリーンティング、特産品販売

(2) イベント出展等による観光誘客事業

ア 東京観光情報センター多摩

開催日	令和4年6月1日～30日
場 所	JR立川駅エキュート3階 東京観光情報センター多摩
内 容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

イ 東京観光情報センター

開催日	令和4年11月1日～15日
場 所	都庁第一本庁舎1階 東京観光情報センター
内 容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

(3) 観光関係雑誌及び新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について、雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

媒 体	回数(回)
地域情報誌	0
フリーペーパー	4
書 籍	1
新 聞	2
W E B	10
テレビ	4
ポスター、デジタルサイネージ	0
合 計	21

(4) SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

(ア) 期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで(365日)

(イ) 投稿回数 35回(1週当たり平均約0.7回投稿)※1年間を52週とする。

(ウ) 各投稿の平均閲覧回数 約1,669回(複数回閲覧者含む。)

(エ) 各投稿の合計閲覧回数 58,425回(複数回閲覧者含む。)

(オ) 各投稿の平均閲覧人数 約1,495人(ファン以外を含む。)

(カ) 各投稿の合計閲覧人数 52,329人(ファン以外を含む。)

※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出

(キ) ファン数 3,323人(令和5年3月31日現在)

※ 令和4年3月31日時点は、3,195人

イ 秋川渓谷LINEアカウント

(ア) 期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで(365日)

(イ) ホーム投稿回数 37回(1週当たり平均0.7回投稿)

(ウ) 各発信の平均閲覧回数 約678回(複数回閲覧者含む。)

(エ) 各発信の合計閲覧回数 25,088回(複数回閲覧者含む。)

※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出

(オ) 友達数(注1) 2,901人(令和5年3月31日現在)

※1 うち有効友達数(注2) 1,788人

※2 令和4年3月31日時点は、2,753人(うち有効友達数1,700人)

(注1) …秋川溪谷LINEアカウントからの通知を受け取る設定をした方の数

(注2) …友達数から、通知の受け取りを拒否した方の数を引いた数

(5) 観光パンフレット等の作成

ア 秋川溪谷リーフレット(日本語)

春・夏版30,000部、秋・冬版30,000部

イ 秋川溪谷総合マップ 50,000部

(6) 秋川溪谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川溪谷を中心とした写真を募集し、広く情報を発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを2回開催した。また、応募作品の一部を秋川溪谷の魅力発信のため、パンフレットの写真データとして使用した。

ア 第13回(春・夏の部) テーマ「春の訪れ・夏の風景」

(ア) 応募期間 令和4年7月1日から8月31日まで

(イ) 応募作品 110作品

(ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第14回(秋・冬の部) テーマ「喜びの秋・冬のきらめき」

(ア) 応募期間 令和4年12月15日から令和5年2月15日まで

(イ) 応募作品 142作品

(ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

(7) 秋川溪谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川溪谷を広くPRするため、秋川溪谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

(ア) 使用申請 3件

(イ) 使用承認 3件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を掲出・配布した。

(ア) のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

(イ) ステッカー 市庁用自動車に貼付

(ウ) マグネットシート 市庁用自動車に貼付

(エ) 秋川溪谷ロゴ入りポロシャツ 165枚作成

(8) 「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川溪谷」を活用し、秋川溪谷観光プロモーションを推進するため、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを販売した。

LINEスタンプ販売数 115ダウンロード(4,114円)

3 秋川渓谷観光施設維持管理事業

秋川渓谷に係る観光施設等を観光資源として継続的に保存するため、適正に維持管理した。また、より魅力的な観光ルートを整備するため、眺望確保や訪日外国人旅行者に対応した英語表記による観光案内看板を設置した。

(1) 秋川渓谷観光情報コーナーの運営管理

秋川渓谷観光の玄関口であるJR武蔵五日市駅の改札外に観光資源の魅力発信拠点として設置した「秋川渓谷観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川渓谷Wi-Fiの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、外国人観光客の受入れ環境整備を図るとともに、観光情報発信の拠点として活用した。

(2) 歩行者用誘導標識の整備

観光客の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、「秋川渓谷観光用誘導標識整備計画」に基づき、観光案内看板2基を整備した。英語による案内を併記することで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を行った。

(3) 森林資源を活用した魅力創出事業

ア 網代城山周辺景観伐採等事業

網代城山周辺の登山道の眺望を確保するため、伐採と植栽を実施した。

イ 戸倉城山周辺園地整備等事業

歩道整備として戸倉城山山頂付近に土留めを設置し、十里木登山道に木製階段を設置した。

また、森林整備として、荷田子峠付近の大刈りを実施した。

(4) 観光ルート草刈り等事業

観光遊歩道、観光施設等周辺の除草作業、草刈作業、植栽管理を実施した。

4 観光トイレ維持管理事業

秋川渓谷を訪れた観光客に快適に利用してもらうことを目的として、ハイキングコース上などにある観光トイレの整備及び維持管理を行った。

5 秋川流域持続可能なツーリズム推進事業

拠点施設「秋川流域ジオ情報室」の運営

秋川渓谷戸倉体験研修センター3階にある「秋川流域ジオ情報室」について、秋川流域に存在する地域資源を季節ごとに紹介する展示物等の作成や解説を実施するなど、来訪者の対応を行った。

年間来訪者 6,209人

6 ふるさと工房運営事業

紙漉き体験や講習会を実施することにより、市の伝統工芸である「軍道紙」の保存伝承及びPRをすることができた。

(1) 小学校体験学習件数 28校(市内6校、市外22校) 1,813人

(2) 軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9,067,000円

(3) 軍道紙紙漉き講習会 新型コロナ対策のため中止

(4) イベントにおけるPR活動

開催日	イベント名
令和4年9月17、18日	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2022～

7 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

(1) 観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川橋河川公園	一般社団法人 あきる野市観光協会	令和2年 4月1日～ 令和7年 3月31日	41,770人
第1水辺公園リバー サイドパークの谷			784人
第4水辺公園秋川 ふれあいランド			2,170人

(2) 十里木・長岳観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数	
秋川溪谷瀬音の湯	新四季創造株式会社	令和2年 4月1日～ 令和7年 3月31日	温泉	218,371人
			宿泊	5,999人
			レストラン	59,989人
			直売	84,809人
			合計	369,168人

(3) 秋川溪谷戸倉体験研修センター

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数	
秋川溪谷戸倉体験 研修センター	新四季創造株式会社	平成30年 4月1日～ 令和5年 3月31日	体験	1,499人
			宿泊	1,161人
			飲食	11,924人
			研修室	4,827人
			見学等	5,440人
合計	24,851人			